

圓覚寺 護持会会報

文殊

平成25年 新春号

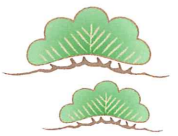


宝くじがいつ当たるのか
来年の今日は
晴れなのか雨なのか
はたまたこの命はいつ終わるのか
本当は知りたいことばかり
だけどわからないからこそ
今を一生懸命生きることが
できるのかも知れない

「わからない幸せ」

平成25年
第2号

謹賀新春



円覚寺十七世 成田大航



あけまして
おめでとございます。

日頃は圓覚寺法灯護持に、様々にご協力賜っておりますこと

誠に有り難く御礼申し上げます。

居まさんと、言われても行く墓参り

ラジオで偶々聞いた川柳が言い得て妙だと耳に残っています。宗教界では、数年前に全国的に流行った「千の風になつて」の歌詞がきっかけで宗教離れが進んでしまっている、という意見があります。また、お葬式も行わずに病院から火葬場へ直行する「直葬」は大都市では急速に増えているということはどうで

ありでしょうか。

この世を去る前に、多くの人は次の世代の人に迷惑をためらつてか「後は好きなようにせい」と言い残して旅立ちます。親鸞、道元をはじめ多くの祖師は、「構うな」と遺言しましたが、にも関わらず七五〇年経つた今でも、全国津々浦々で遺徳を偲んで法要が行われています。

頂いたご恩を思えば、感謝の気持ちを表さずにいられないというのが本当の姿なのだと思いますが、今は「はい、わかりました」と言つて親を病院から火葬場へ直送する子ども達が増えているのは悲しい現実であります。中には生きていることにして、押し入れに隠して年金をくすめる輩が逮捕されるような事件まで起きています。家族という最



小単位の間人間関係が崩れかけてしまっているとしたら大変危険な時代であります。

憂うる事は多い昨今ですが、今年は地に足の着いたしっかりとした年になつて欲しいものです。巳年（蛇）と聞くと、あまり気持ちの良い感じを持たない方が多いと思いますが、仏教には案外縁のある生き物で、インドでは仏教を守護する生き物として扱われています。アンコールワットの正面には八〇〇年以上大蛇がしっかりと守ってくれています。今年もほとけ様のご加護多からんことを祈つてご挨拶と致します。

長松寺 晋山結制首座宗寛様 お祝いの言葉

代表 総代 佐藤 正雄

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。檀信徒の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、円覚寺護持会の運営に、ご支援とご協力を頂いておりますことを心より厚く御礼申し上げます。本年も何かとお世話になることと思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。檀信徒皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

首座法戦式に出席して

昨年、平成二十四年十一月十一日、京都府綾部市坊口町林三 洞谷山長松寺において当山十九世中川智昭和尚様の

晋山式並びに結制が挙行されました。

前日には、(晋山)結制を行うに当たつて首座入寺式が厳修され、妙智山円覚寺成田大航師徒弟弟宗寛様が首座に任命されました。

結制とは、新命のご住職が修業道場を組織して後輩の僧侶の育成をするというもので、この道場の筆頭弟子を首座と言います。入寺式とは、修業道場に首座として就任する儀式で、本堂を僧堂(坐禅堂)にみたてて行われます。

当日は、晋山式に併せて首座法戦式が厳修されました。首座法戦式とは、新命ご住職に代わって、首座和尚さまが問答を受ける儀式です。

定刻、本堂の木版が鳴り響き式が開

始されました。太鼓が鳴り響く中、住持が入堂され、…読経(般若心経)奉持(そうく) 首座巡拝(しゅそじゅんぱい) 拈竹蔽(ねいつてい) 法問 謝語(しゃご) :と式は順調にすすみ、新進気鋭の成年らしく堂々と首座としてのお役目を勤められました。

首座をお勤めされるということは、得度を終えた僧侶が二番目に迎えられる関門で、曹洞宗の僧侶として必ずお迎えることになる関門の一つです。この度、大きな節目の一つを無事通過をされました。

私達檀信徒としては、まことに喜ばしく、敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。次第です。



法問 問答
(次々と向けられる質問を喝破する
首座宗寛さん)

福知山藩主朽木家のご紹介

第十六代当主 朽木 彰

私の履歴書

私の父であります福知山藩主第十五代綱博は、父方の徳川十五代將軍徳川慶喜の五男で、鳥取池田家に養子に入った池田仲博の三男になります。又、母方は勝海舟の孫、伊代子（徳川慶喜十男精が養子になります）の長女道子が私の母になります。

昭和十年に東京渋谷で徳川慶喜の曾孫として生を受けました。幼少時代は池田家お祖父様の東京原宿の大きな屋敷で過ごしましたが、その後、鎌倉の家より四谷の学習院初等科から大学、その後米国ミネソタ大学へ留学し、

帰国後住友スリーエムに勤務し定年後に鎌倉市から福知山へ移住し現在に到っております。

福知山へ来ましたのは、三十年ほど前、北海道池田町で修学旅行中の福知山淑徳高校の生徒との偶然の出会いが機縁となり



◎伊東貞勝様撮影

ました。それ迄は朽木を名乗ってはいませんが、朽木の事は何も知らずに過ごしておりました。その後福知山史談会会長でもあり、淑徳高校におられた根本惟明先生との文通が始まったのであります。その後、何回か当地を訪れ、先祖が二百年も住んでいた地に移り住んで、先祖の事を学びたいという決断をすることになりました。当初は五年の予定で朽木家文書の研究や勉強をするつもりが、十三年も経ることになってしまいました。

この間、六代藩主朽木綱貞が息子八代藩主昌綱に宛てた手紙を解読し、『大阪城在番たより』『朽木家の和歌』等出版し、朽木家所蔵資料研究会を結成し、文書書画を整理調査研究を続けております。朽木家は、周知のとおり近江国朽木の出身で、鎌倉室町兩幕府にお仕えを致しました。また、河内守元綱三男植綱は家光に近侍し、旗本となり、常陸土浦より丹波福知山に転じたのであります。

朽木家は宇多天皇の三男源雅信公をお祀りし、戦前戦後を通じ年に一度日本で唯一宇多源氏宗族会を開いているのであります。

朽木 彰



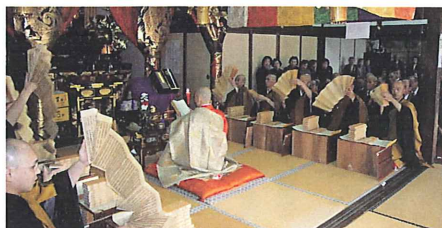
◎朽木彰様提供

圓覚寺には福知山城主朽木家墓所として第七代・第十二代・第十三代ご令室のお墓をお祀りしておりますが、現当主であられます朽木彰様に一筆お願いを致し、ご紹介とさせて頂きました。写真とは平成十四年秋の彼岸講の折、ご講演を頂いた時の写真を掲載させて頂きました。また、もう一枚は、朽木様が植物の造詣が殊の外深く、中国原産の「地湧金蓮（ちゆうきんれん）」という珍しい花を開花させた時に両丹新聞に掲載された時のものです。補足ですが、朽木様から寄贈の宮内庁登録の白松（はくしょう）が圓覚寺境内朽木公墓所階段下に、また、駐車場脇には佐々木源氏の氏神である沙沙貴神社様からのアメリカヒトツバダコ（通称：なんじゃもんじや）を植えさせて頂いておりますのでご覧下さい。

円覚寺の出来事 お寺の行持点描

大般若

一月十二日(午前十二時開式)は年始めのご祈祷があります。福知山近隣十四ヶ寺のお寺様のご随喜を頂き、お寺に伝わる大般若経(般若心経のもとになったお経 六百巻の転読(全部読むことが出来ない)のでパラパラと掂げます)をして檀信徒各家の身体健全・家門隆昌を祈ります。どなたでもお参り出来ます。



花まつりの

お団子作り

五月八日は月遅れのお釈迦様の誕生日になります。

五色のお団子と甘茶をお供えし、お檀家の方はそれぞれのお墓参りとお寺参りをされます。

前日は梅花講の皆さんでお団子を作り、当日朝にお供えます。



七月十二日

和尚が修行していたタイのワットパクナムのお坊さんが訪ねてきてくれました。土師観音にお参りしてもらい、しばし休憩して頂きました。梵鐘は珍しかったみたいです。



施食会

八月十二日

初盆大施食会には初盆をお迎えのご親戚一同沢山のお参りを頂きました。英霊施食と山門大施食は、一般檀信徒どなたでもお参り頂けます。



九月二十日

秋の彼岸会

今年はギターとハーモニカ演奏で「歌声広場」を芦田照男さまにお世話になりました。

遠方まで演奏を頼まれてお忙しい中有り難うございました。



仏教会研修旅行

十月十九日

大河ドラマ「平清盛」に因み、源平興亡のゆかりの寺である須磨寺に参詣し、管長様よりご法話を頂きました。



墓地整備についてのお知らせ

土師墓地は、造成されてから数十年を経過し、現在の使用墓地数は三百三十基を越える数となっております。

時の経過とともに、無縁墳墓〔墓地の使用者が死亡し、継承者の方と連絡がとれず、管理する人がいなくなった墓地〕等が増加し、その数が数十基を数えるようになり、墓地整備の一環として、無縁墓地の改葬処置が必要な時期になって来ております。

つきましては、平成二十五年三月頃を目途に無縁墳墓等の改葬手続きに入らせていただきますと考えております。

具体的な改葬手続きは、まず無縁墳墓等を改葬する旨を官報にて公告いたします。また、同時に同じ内容の立札を墓地内に一年間公告いたします。

無縁墳墓等の今回の改葬対象の墳墓は、下記見取り図のとおりです。公告の内容は、下記の(案)で考えております。

無縁墳墓等の見取り図



墓地内の立て看板

案 無縁墳墓等改葬公告

この程、墓地整理のために無縁墳墓等について改葬することとなりましたので、墓地使用者等、死亡者の縁故者及び無縁墳墓等に関する権利を有する方は、左記の記載の翌日から一年以内にお申し出下さい。

なお、期日までにお申し出のない場合は、無縁仏として改葬することになりますのでご承知ください。

年月日 平成二十五年三月××日

官報 第××××号 記載

一 墳墓等所在地 京都府福知山市字土師

一七七六番の二及び一七七六番の一四二二

墳墓等の名称 土師墓地

一 死亡者の本籍及び氏名 不詳墳墓 十五墓

一 改葬を行なおうとする者

住所 京都府福知山市字土師一七七七 円覚寺内

TEL 〇七七三(二七)四四四七

氏名 土師墓地管理会 管理者 佐藤倅志

知っているようで知らない 円覚寺

お寺の宝物

「圓覚寺釈迦涅槃図」

お釈迦様は死を悟られ、生まれ故郷のカピラ城へ向かう途中、インド・クシナガラにて八十才で亡くなりました。その時の様子を絵に書き写したものを「釈迦涅槃図」といい、二月十五日のご命日に「涅槃会（ねはんえ）」をお勤めして遺徳を偲びます。

圓覚寺には二〇〇年以上前から伝わる涅槃図があり、二〇〇年以上修復がおこなわれず痛んでおりましたが、平成二十一年に篤志の方のご援助により見事に甦りました。

二月十五日の涅槃会には間近でご覧下さい。
(縦2.6m×横1.8mの立派な大涅槃図です)



お寺の動静



あちこち破れのあつた導師用坐褥ざもくを新調ご寄付頂きました

(施主…伊東高志様)



寺号額の修復を致しました。

(施主…芦田俊彦様・古島高夫様・芦田満様・佐藤哲夫様・伊東邦彦様 各々初盆供養)



辰年に因みお檀家の芦田俊明様製作で縫袈裟一肩お供え頂きました(施主…芦田静子様)



お便りコーナー

大寒に入り、例年にない厳しい季節となりました。

この度はご丁寧に大般若祈祷札をはじめ貴重な品々を賜り有り難うございました。

圓覚寺護持会会報「文殊」も立派なもので編集の方々の苦勞が偲ばれようこんで拝見させて頂きました。亡き主人も氣にかけてみました福知山藩主の墓所についても詳しく掲載されており、感慨深いものがありました。

年に一度の墓参の上、時間の余裕もなくご住職様とも毎度お出会いすることもかないませんでした。が、会報により色々情報を得ることが出来一層身近に感じています。(中略) とりあえず右一筆お礼申し上げます。

奈良市 芦田雅明母

梅花講「講員募集」のお知らせ

新講員さん六名が入講し、和やかに練習が始まりました。まだ募集中ですので、いつでも始めて下さい。

十月三十一日、舞鶴総合文化会館にて、京都府梅花講創立五十五周年記念奉詠大会があり、八百人を越える参加の中、圓覚寺梅花講も登壇致しました。



圓覚寺京都府京極所梅花講 創立55周年記念奉詠大会 平成24年10月31日 舞鶴総合文化会館

平成25年度の主な行持予定

- 1月 1日(火) しゅうしやうえ 修証会(元朝互礼会) 10時・11時の2回
- 12日(土) だいほんにや 大般若法要(大般若経六百巻の転読祈願法要)
- 2月15日(金) 涅槃会(お釈迦様ご命日)
- 3月 (日程調整中) 西国三十三ヶ所巡拝
- 3月17日(日時調整中) 円覚寺彼岸会(彼岸入り)
- (日時調整中) 護持会決算会
- (日時調整中) 予算会
- 4月29日(月) 和敬会花祭り(当番:報恩寺、昌宝寺)
- 5月 8日(水) 円覚寺花まつり(釈尊降誕会)
- 5月29日(水) 梅花流全国大会(宮城県)
- 7月 6日(土) 仏教文化大講演会(厚生会館)
- 子供地方研修会(三和町を予定)
- 7月末～8月初旬 遠方棚経
- 7月28日(日時調整中) 円覚寺境内作務(役員・会員他)
- 8月 1日(木) 土師観音盆供養・夜施餓鬼(施食会連夜)
- 8月 4日(日時調整中) 土師墓地・檀信徒お墓掃除(一軒に1人)
- 8月 6日(火) 8:15 原爆追悼平和の鐘(参加自由)
- 8月 8日(木) 孟蘭盆大施食会(並ニ、初盆大施食会)
- 9日(金) 綾部(早朝)・夕陽丘・羽合・新庄・岩井・野花方面棚経
- 10日(土) 前田方面(早朝)・市内方面棚経
- 11日(日) 土師宮町区・土師新町東区棚経
- 12日(月) 土師新町南区棚経
- 13日(火) 土師町区棚経
- 14日(水) 孟蘭盆(お盆参り、午前中本堂開放)
- 16日(金) 丹波大文字送り火
- 8月24日(日時調整中) 地藏盆参り(遠方)
- 8月(日時調整中) 地藏盆(土師新町南、地藏堂)
- 9月20日(日時調整中) 円覚寺彼岸会(彼岸入り)
- 9月21日(土) 彼岸参り(遠方)
- 10月20日(日) 綾部市、浄泉寺晋山結制
- 11月(日時調整中) 秋の西国三十三ヶ所巡拝
- 日 土師総区戦没者追悼慰霊祭(日時未定)
- 12月 8日(日) 釈尊成道会、未修年忌供養等併修
- 12月18日(水) 大すす払い
- 31日(火) 除夜の鐘・歳末風経

- 毎月1日午前6時半 読経会(朝のお勤め会)
- 毎月第1・3・金曜 梅花講詠讃歌(日時変)
- 毎月第2・4火曜日 午前10時 寿会写経会(日時変)
- 3月より座禅会の予定

円覚寺護持会役員の紹介

任期		平成二十二年四月～ 二十五年三月まで		総代	
代表	佐藤 正雄	代表	佐藤 正雄	代表	佐藤 正雄
庶務	佐藤 正雄	庶務	佐藤 正雄	庶務	佐藤 正雄
墓地	佐藤 正雄	墓地	佐藤 正雄	墓地	佐藤 正雄
會計	佐藤 正雄	會計	佐藤 正雄	會計	佐藤 正雄
寺報	佐藤 正雄	寺報	佐藤 正雄	寺報	佐藤 正雄
編集	佐藤 正雄	編集	佐藤 正雄	編集	佐藤 正雄
集刊	佐藤 正雄	集刊	佐藤 正雄	集刊	佐藤 正雄
担当	佐藤 正雄	担当	佐藤 正雄	担当	佐藤 正雄
伊東 宏	伊東 宏	伊東 宏	伊東 宏	伊東 宏	伊東 宏
芦田 孝文	芦田 孝文	芦田 孝文	芦田 孝文	芦田 孝文	芦田 孝文
大槻 毅敏	大槻 毅敏	大槻 毅敏	大槻 毅敏	大槻 毅敏	大槻 毅敏
伊東 高志	伊東 高志	伊東 高志	伊東 高志	伊東 高志	伊東 高志
佐藤 倅志	佐藤 倅志	佐藤 倅志	佐藤 倅志	佐藤 倅志	佐藤 倅志
芦田 正勝	芦田 正勝	芦田 正勝	芦田 正勝	芦田 正勝	芦田 正勝

護持会運営委員	
第一班	伊東 宏
第二班	佐藤 肇
第三班	佐藤 庸司
第四班	高橋 雅紀
第五班	芦田 昌浩
第六班	西垣 修明
第七班	大槻 毅敏
第八班	芦田 孝文
第九班	芦田 實郎
第十班	佐藤 重幸
第十一班	佐藤 紘幸
第十二班	大槻 勝巳
第十三班	伊東 利昭
第十四班	芦田 謙二
第十五班	芦田 紘子
第十六班	藤井 謙志
第十七班	芦田 道弘

平成二十五年の主な年回覧		一周忌		三回忌		七回忌		十三回忌		十七回忌		二十五回忌		三十三回忌		五十回忌		百回忌	
平成二十四年(二〇二二)	平成二十四年(二〇二二)	平成二十三年(二〇二一)	平成二十三年(二〇二一)	平成十九年(二〇〇七)	平成十九年(二〇〇七)	平成十三年(二〇〇一)	平成十三年(二〇〇一)	平成九年(一九九七)	平成九年(一九九七)	平成元年(一九八九)	平成元年(一九八九)	昭和五十六年(一九八二)	昭和五十六年(一九八二)	昭和三十九年(一九六四)	昭和三十九年(一九六四)	大正三年(一九一四)	大正三年(一九一四)	大正三年(一九一四)	大正三年(一九一四)

平成二十五年の主な年回覧

「編集後記」

檀信徒の皆様にはご家族御揃いで新春をお迎になられたこととお慶び申し上げます。

昨年は不慣れな中で文殊新春号を皆様にお届けすることができました。早速お礼のお手紙を戴き拝読させていただきました。ありがとうございました。

これからも文殊を通じ護持会活動、故郷の様子をお伝えしながらより身近な親しみのある編集を心がけ頑張つてまいります。

最後になりましたが護持会編集部では旅行、俳句、川柳あなたの体験など投稿をお待ちしております。

総代 総務担当
芦田 正勝



発行所

圓覚寺護持会会報編集部
住所／京都府福知山市字土師一七七
電話／〇七七三(二七)四四四七